

# 日本スポーツ社会学会第 19 回大会

## 開催期間

2010 年 3 月 28 日(日)・29 日(月)

## 会場

岩手大学 学生センター

〒020-8550 岩手県盛岡市上田 3 丁目 18 番 34 号

## 主催

日本スポーツ社会学会

## 日程

|      | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00      | 13:00 | 14:00           | 15:00 | 16:00 | 17:00 | 18:00 | 19:00 |
|------|------|-------|-------|------------|-------|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 28 日 |      | 理事会   | 受付    | 一般発表       | 講演    | パネル<br>ディスカッション | 総会    | 移動    | 懇親会   |       |       |
| 29 日 |      | 一般発表  | 昼食    | 一般発表&企画シンポ |       |                 |       |       |       |       |       |

## 参加申し込み

学会第 19 回大会ホームページの「参加申し込み」から、フォームに従って必要事項を記入の上送信してください。今回同封した申し込み用紙により、大会実行委員会まで FAX、または郵便も可能ですが、できる限りホームページから申し込んでください。

### 【参加申込先】

大会 HP <http://www.jsss.org/>

〒020-8550 岩手県盛岡市上田 3 丁目 18 番 34 号 岩手大学人文社会科学部浅沼研究室  
日本スポーツ社会学会第 19 回大会事務局宛 TEL/FAX 019-621-6835

### 【参加費】

参加申込みと同時に、郵便振替にて大会参加費を大会事務局口座までお送り下さい。

早割：2010 年 1 月 22 日（金） 正会員 9,000 円（懇親会不参加の場合 5,000 円）

学生会員 6,000 円（懇親会不参加の場合 2,000 円）

2010 年 1 月 23 日（土）以降 正会員 10,000 円（懇親会不参加の場合 6,000 円）

学生会員 7,000 円（懇親会不参加の場合 3,000 円）

### 【振込先】

郵便振替 口座番号 02240-6-108890 口座名称 日本スポーツ社会学会第 19 回大会事務局

3月28日(日)

◆理事会 9:00～11:30 <会議室>

◆受付開始 11:00～ <学生センター正面入り口>

◆一般発表 I 12:00～14:00

1.スポーツとグローバリゼーション <会場 A・G21> 座長:佐伯 年詩雄(平成国際大学)

- 12:00～ 石原 豊一(立命館大学大学院国際関係研究科)  
独立プロ野球リーグ:スポーツのグローバル化がもたらした新たな境界
- 12:30～ 植田 俊(筑波大学大学院人間総合科学研究科)  
スポーツ実践からみる「デカセギ」労働者 一群馬県大泉町のBFCのフィールドワークから
- 13:00～ 大沼 義彦(北海道大学大学院教育学研究院)  
東アジアにおけるメガスポーツイベント:北京五輪をめぐる諸論点
- 13:30～ 小林 ゆき(東洋大学大学院)  
モータースポーツは何を競ってきたのか 公道オートバイレース・マン島TTの事例を中心として

2.スポーツ社会学研究法<会場 B・G28> 座長:井上 俊(大阪大学名誉教授)

- 12:00～ 宮坂 雄悟(東京学芸大学大学院)  
スポーツ行為に対する「フレーム」分析の可能性と課題
- 12:30～ 前田 和司(北海道教育大学岩見沢校)  
「生活論アプローチ」が直面する課題
- 13:00～ 内海 和雄(一橋大学)  
「オリンピックーナショナリズムー平和」の研究方法論
- 13:30～ 鷺谷 洋輔(筑波大学大学院人間総合科学研究科)  
SDP(Sport for Development and Peace)ムーブメント研究の視座転換

3.スポーツ環境とシステム<会場 C・G29> 座長:中江 桂子(成蹊大学)

- 12:00～ 山本 真弓(順天堂大学)  
保健体育の教員養成大学における専門性に着目した小学校との協働による児童の適応支援システムの構築に関する基礎的研究 ～実践的事例から見えてくる効果と課題～
- 12:30～ 熊安 貴美江(大阪府立大学)  
スポーツ環境における指導者と選手の適切な行為(1)ーセクシュアル・ハラスメントに関する男性指導者と女性選手の認識と経験ー

13:00～ 高峰 修（明治大学）

スポーツ環境における指導者と選手の適切な行為に関する研究（２）— 指導に伴う暴力行為について —

13:30～ 中道 莉央（武庫川女子大学大学院）

車いすバスケットボール選手の実態の国際比較

◆実行委員会企画 特別公演（60分） 14:10～ <会場D・G2大>

講演論題：ドイツにおける地域のスポーツ政策について

講演者：Rolf Meier氏（ロルフ・マイアー氏）ケルンスポーツ大学スポーツ経済研究所主任研究員



現在はクリストフ・ブロイヤー教授のプロジェクトチームに所属し、地域スポーツ政策に関する調査研究を行っている。また、この20年間、ケルンスポーツ大学が実施した様々なプロジェクトに参加しており、特にドイツのスポーツクラブやスポーツ振興政策に関する調査研究を担当している。15年前よりケルン市のスポーツ政策アドバイザーを兼務。今回の講演では、ミュンヘンなどの事例も取り上げながら、ドイツの地域スポーツ政策について紹介したい。

◆研究委員会企画 シンポジウム(120分) 15:20～ <会場D・G2大>

テーマ「メディアスポーツの現状と課題」

シンポジスト1) 山本 浩（法政大学）「放送の現場から スポーツ中継は何を語るのか」

2) 中小路徹（朝日新聞）「新聞の現場から 変革期のスポーツジャーナリズム」

3) 草苺裕之（東北放送）「ローカルの現場から スポーツの地域への貢献」

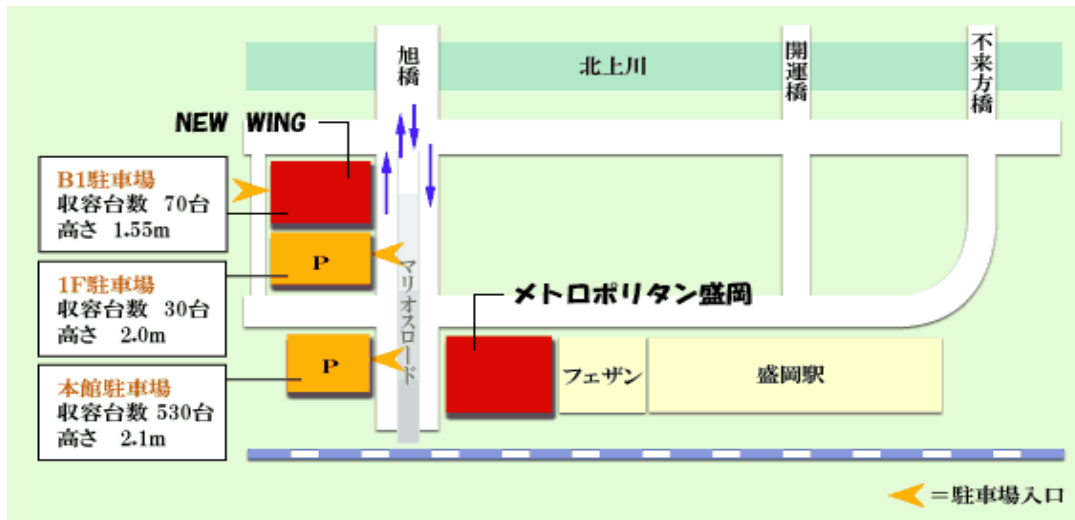
コメンテーター：リー・トンプソン（早稲田大学）

司会：甲斐健人（奈良女子大学）

◆総会（55分） 17:20～ <会場D・G2大>

◆移動 18:20～

◆懇親会 18:45～ <会場F・ホテルメトロポリタン盛岡本館>



3月29日(月)

◆受付 8:30～ <G22 教室>

◆一般発表Ⅱ 9:00～12:30

1.スポーツ政策 <会場 A・G21> 座長：杉本 厚夫（京都教育大学）

9:00～ 後藤 貴浩（熊本大学）

地域社会分析から捉える住民のスポーツ活動

9:30～ 金子 史弥（一橋大学大学院社会学研究科）

英国における福祉国家の変容とスポーツ政策の変遷ー「英国地方自治体スポーツ政策に関する研究」の基礎としてー

10:00～ 原田 峻（東京大学大学院）

「社会運動」としての地域スポーツクラブ ー 垂水区団地スポーツ協会の成立と展開をめぐって ー

10:30～ 伊藤 恵造（秋田大学）

団地社会におけるスポーツ実践と共同性の創出ー 垂水区団地スポーツ協会を事例として ー

2.障害者スポーツ <会場 A・G21> 座長：高峰 修（明治大学）

11:00～ 渡 正（徳山大学経済学部ビジネス戦略学科）

障害者スポーツ体制の確立と展開に関する研究

11:30～ 山崎 貴史（筑波大学大学院人間総合科学研究科）

障害者運動におけるスポーツイベントの位置 ー名古屋シティハンディマラソンを事例にー

**3.スポーツメディア <会場 B・G28> 座長：リー・トンプソン（早稲田大学）**

- 9:00～ 生駒 義博（関西大学大学院社会学研究科）  
メディアスポーツにおけるブログ・ジャーナリズムの考察～サッカーブログの  
アクセス解析をもとに～
- 9:30～ 森津 千尋（宮崎公立大学）  
植民地期朝鮮におけるスポーツ振興と民族意識(1) —「内鮮融和」政策期にお  
けるスポーツ大会とメディア—

**4.国際セッション <会場 B・G28> 座長：山下 高行（立命館大学）**

- 10:30～ Wang Chun-Chi（Tourism and Leisure Management Department of Nanya  
Institute of Technology）  
The Imagination and Proposal of Sport Public Sphere —A Slip of the  
Memory by Development of Sport Commercialization
- 11:00～ Chu, Wen-tseng（National Taiwan Normal University）  
A Study on the Participative Motivation and Social Support of Slow Pitch  
Softball Participants in Taipei

**5.スポーツと身体文化 <会場 C・G29> 座長：亀山 佳明（龍谷大学）**

- 9:00～ 酒本 絵梨子（東京学芸大学大学院）  
ロンドンの「引き込み」現象の再検討 —アフォーダンスの視点から—
- 9:30～ 倉島 哲（関西学院大学社会学部）  
太極拳・スポーツ・近代 —身体の意味づけをめぐって—
- 10:00～ 加藤 朋之（山梨大学）  
サッカースタジアムのテクノロジーと「まなざし」の社会史

**6.スポーツクラブと企業スポーツ <会場 C・G29> 座長：高橋 義雄（筑波大学）**

- 11:00～ 前田 博子（鹿屋体育大学）  
スポーツクラブに所属する大学生のレディネスと求められるリーダーシップ
- 11:30～ 海老島 均（びわこ成蹊スポーツ大学）  
企業スポーツの変容と日本のスポーツ環境転換の連動性に関する考察—ラグ  
ビーを例に
- 12:00～ 中澤 篤史（一橋大学）  
運動部活動の戦後史：実態・政策・言説の変遷と関係に注目して

7.スポーツと教育 <会場D・G2大> 座長：菊 幸一（筑波大学）

9:00～ 鈴木 尚子（ベネッセ教育研究開発センター）

学校外スポーツ活動に関する実証的研究

9:30～ 白石 義郎（久留米大学）

学内「運動会」から対校戦へー京都帝国大学における「運動会」の教育イデオロギー

10:30～ 鈴木 聡（東京学芸大学大学院）

体育科授業研究における「他者」からの影響に関する研究

11:00～ 金子 典之（順天堂大学大学院）

中学校部活動の教育的機能に関する研究

8.スポーツと価値 <会場D・G2大> 座長：西山 哲郎（中京大学）

11:00～ 北村 尚浩（鹿屋体育大学）

武道実施者の達成目標

11:30～ 高橋 豪仁（奈良教育大学）

東京五輪出場選手のスポーツ信念に関する調査報告

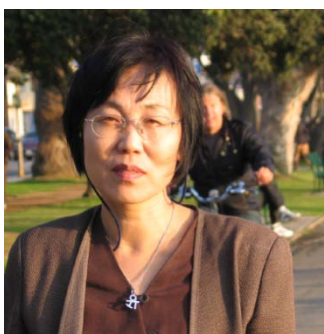
◆韓国スポーツ社会学会との学術交流企画 講演（90分） 13:30～ <会場D・G2大>

講演論題 : 韓国におけるスポーツ政策の展開と課題(仮)

コメンテーター : 山下 高行（立命館大学コリア研究センター副センター長）

司会者 : 海老島 均（びわこ成蹊スポーツ大学教授）

講演者 : 朴ヨンオク先生（体育科学研究院政策開発研究室室長、韓国スポーツ社会学会理事）



I majored in General Sociology. I had worked at Research Institute of Social Science.

I started KISS at May in 1996. I have worked as the researcher in the Department of Sport Policy R&D for 14years

KISS is similar to JISS(Japan Institute of Sport Science) in respect of Elite Sport Research and Support function. But KISS is different from JISS in respect of Policy Research and Support function. KISS Policy Department have worked in close connection to The Central Government. KISS'budget is from the Public Sport fund(so-called National Sport Promotion Fund)

My recent research interest is about the regional development through sport.